

このページは、小・中学生に向けて
梅光学院大学子ども学部子ども
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が
作っています。

※イラスト 兒島希美さん

しものせき キッズページ



「冬の城下町長府散策へ！」



▲江戸時代には、長府毛利藩5万石の城下町として栄えた長府。
歴史舞台となった長府の冬を、歩いて楽しみませんか。

昨年本格的に改修された功山寺の山門や、桃の節句に向けて2月から始まる「ひなまつり」など、冬の長府は見どころがたくさん！
さあ、散策に出掛けましょう！

功山寺仏殿・山門



功山寺は長府にある曹洞宗の寺です。長府毛利家の菩提寺、つまり長府毛利家の先祖代々の墓や位牌を置き、葬式や法事を行ってきました。

仏殿は、鎌倉時代の禅宗様建築を代表するものです。柱に書かれているものから元応2(1320)年の建立と分かり、国宝に指定さ

2月5日～4月3日まで、長府のまちが「城下町長府ひなまつり」一色となり、あちこちがひな人形やつるし飾りでにぎわいます！
会場の一つ、長府毛利邸は明治36(1903)年に第14代藩主毛利元敏によって建てられた邸宅です。
2月7日からは「長府おさげものひなまつり」、2月21日からは「柳川伝承まり・さげもん」と「フラワーアクセサリー」コラボ展示「豪華おひなさま展示」が開催され、毛利邸を華やかに彩ります。
取材では、長府おさげものひなまつりで部屋いっぱい飾られる

城下町長府ひなまつり 「長府毛利邸二編」



「国を護る場」と書かれています。功山寺の有福住職にいろんな話を聞き、坐禅を教えてくださいました。皆さんもぜひ行ってみてください。

れています。ヒノキの樹皮を使った檜皮葺き屋根の曲線は見事で、堂内には本尊千手観音坐像が安置されています。
山門は市指定文化財で、扁額と呼ばれる建物の看板が掲げられています。ここでは「護国場」、つまり「国を護る場」と書かれています。功山寺の有福住職にいろんな話を聞き、坐禅を教えてくださいました。皆さんもぜひ行ってみてください。

「つるし飾り」を実際に持たせてもらいました。この飾りは一つ一つ込められた想いが違っていて、大切に手作りされています。今しか見れないので、ぜひ来てください！

★功山寺 ☎245-10258
所長府川端一丁目2番3号

★城下町長府ひなまつり
詳細は8ページに掲載しています。

★長府毛利邸 ☎245-8090
所長府惣社町4番10号

★長府庭園 ☎246-4120
所長府黒門東町8番11号

城下町長府ひなまつり 「長府庭園二編」



長府庭園は、長府毛利藩の家老であった西運長の屋敷跡に、新しく1921年に作り直されました。池を中心に、書院・茶室・あずまやが残されており、その広い敷地には四季を楽しむよう、季節にあつた花や草が植えられています。ひなまつりの会場の一つ、長府庭園の書院では、2月1日から「春を愛でるさげもん展」が始まります。今年は、豪華なおひなさまをなんと初披露！ 皆さんもぜひ長府庭園を堪能し、長府でのひなまつりを楽しんでください！

「つるし飾り」を実際に持たせてもらいました。この飾りは一つ一つ込められた想いが違っていて、大切に手作りされています。今しか見れないので、ぜひ来てください！



2月号の編集記者(左から)二坂佑佳さん、古木遥さん、高浪友作さん



▲山門2階は通常立入禁止ですが、今回は取材で特別に許可をもらいました。



▲長府庭園でのさげもん展の様子。手作りされた一つ一つを楽しんでください！